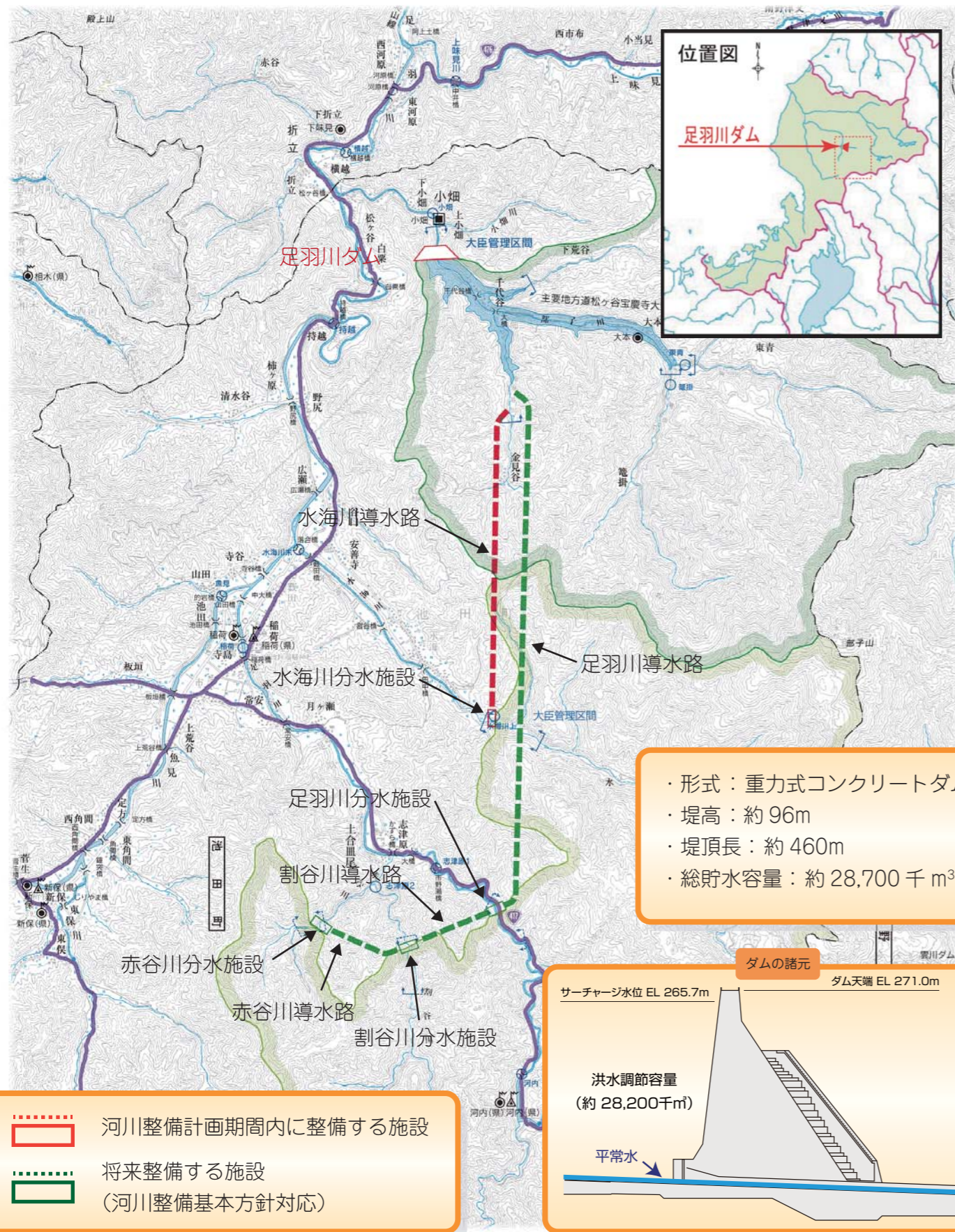
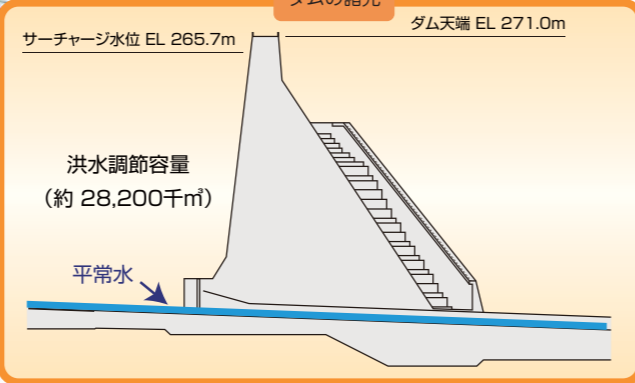


足羽川ダム全体計画図



- ・形式：重力式コンクリートダム
- ・堤高：約 96m
- ・堤頂長：約 460m
- ・総貯水容量：約 28,700 千 m³



足羽川ダム

ASUWAGAWA DAM

みんなの協力で
安全・安心の暮らしを

事業の概要

足羽川ダムの概要

豊かな自然と、福井市街地が広がる足羽川流域



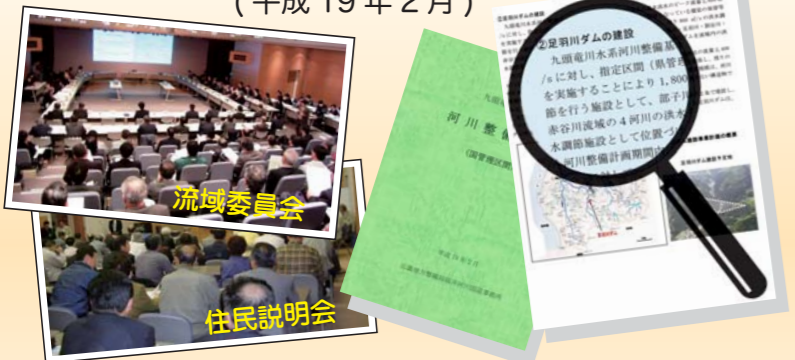
足羽川は、自然豊かな池田町の緑の山々を下り、福井市街地の中心を流れる一級河川です。足羽川を中心として発展してきた福井市街地は、福井県の政治、経済、文化の中心都市です。

福井市街地を襲った、平成16年福井豪雨

平成16年の福井豪雨では大きな洪水被害を受けました。この災害に対し、被災者の前向きな精神と、ボランティアの方々の協力により、短期間で元の生活を取り戻しました。



流域委員会と河川整備計画の策定 (平成19年2月)



33回にわたる流域委員会の開催による公開の場での話し合いと、6回の住民説明会による住民からの意見を踏まえて、平成19年2月に足羽川ダムの建設を位置づけた「河川整備計画」が策定されました。

環境影響評価法に基づく手続き完了 (平成25年2月)



足羽川ダム周辺の環境への影響評価を実施しました。今後は、環境保全対策を実施して行きます。

足羽川ダムは、大きな災害を「みんな」で経験・克服し、「みんな」で計画し、進めているダムです

足羽川ダムの役割

大雨で増水した水をダムで調節することで、洪水による被害を軽減します

ダムの種類	流水型ダム (足羽川ダム)	貯水型ダム
イメージ図		
洪水調節	平常時は水を貯めず、川の水をそのまま流し、洪水時にのみ、一時的にダムに水を貯めて下流に安全な量だけ流します	洪水時は流水型ダムと同じように、ダムに水を貯めて下流に安全な量だけ流しますが、平常時は利水のための水が貯まっています
生態系	現在の川の流れが保たれ、魚類等の移動を妨げません	ダムの存在により川の流れを遮るため、魚類等の移動が困難となります
土砂	洪水時に流水と同時に土砂も流れるため、ダム下流へ土砂を供給します	土砂の流下を妨げるため、ダム下流への土砂の供給量の減少をもたらします
水質	普段は水を貯めないため、水質が維持されます	ダムに水を貯めることで、富栄養化となる可能性があります

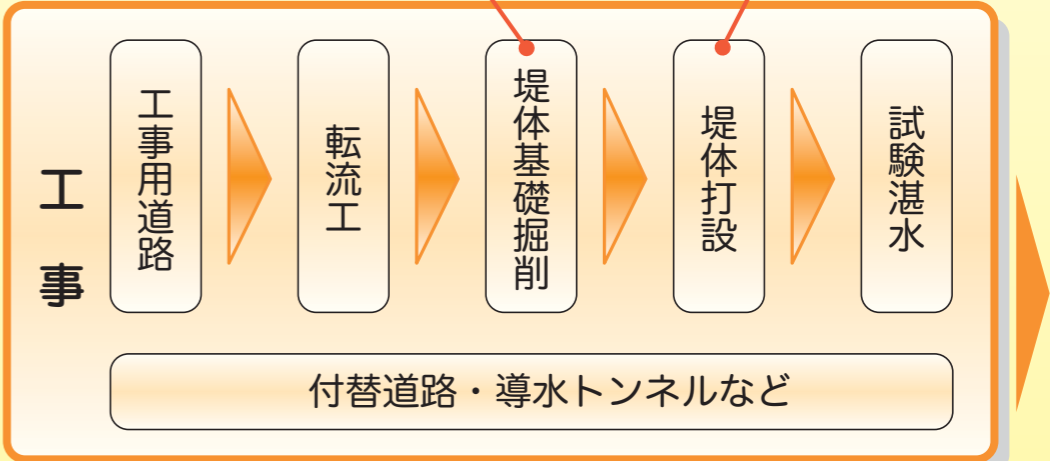
安心して暮せる社会の実現と、「ふるさと」を後にする方々に応えるため、早期のダム完成を目指します

損失補償基準の妥結 (平成25年3月)



事業により、住み慣れた地域から移転を余儀なくされる方々から、補償基準の同意をいただきました。

用地交渉・用地取得



環境モニタリング

完成(洪水調節開始)